

国際ロータリー第2550地区【栃木】2022-2023年度

ガバナー月信

ガバナーからの
メッセージ動画は
youtubeで
視聴できます。

YouTube

GOVERNOR'S
message

R.I.D 2550 tochigi

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

vol.6
2022.12



contents

アイコンをクリックでそのページにとびます。



イマジン
ロータリー

01

02

Governor's
message

ガバナーメッセージ



03

ガバナー公式訪問

10/12 真岡西 RC
10/13 日光 RC
10/14 小山東 RC
10/21 黒羽 RC
10/26 鹿沼東 RC
10/27 小山 RC
11/1 岩舟 RC

Governor's
official visit



04

行事实施報告

「組織規程を理解し変化に対応する」
ためのセミナー

第44回 RYLA セミナー



05

新入・物故会員

06

主要行事予定

07

会員数報告

09

コーディネーター NEWS・ハイライトよねやま

08

地区大会のご案内

10

NEWS

11

Governor's
gallery

ガバナーギャラリー



My ROTARY - Rotary International



イマジン
ロータリー

01



イマジン ロータリー

2022-23 年テーマ『イマジンロータリー』

ジェニファー・ジョーンズ会長は、会員が夢を実現するために行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてのロータリーを思い描き、互いのつながりを深めることによって世界に変化をもたらすパートナーシップを築くよう会員に呼びかけています。

4つの テスト

＜言行はこれに照らしてから＞

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか





ガバナーメッセージ

さぬきなおみち

佐貫直通

国際ロータリー第 2550 地区 2022-23 年度ガバナー
宇都宮陽東ロータリークラブ

Governor's Message

対談：END POLIO NOW

ポリオのない未来へ

『ロータリー財団』の使命と取り組み

Guest

むらいくにひこ

村井邦彦

第 2550 地区 ロータリー財団部門

ポリオプラス並びに資金推進委員会 委員長（宇都宮西 R C）



佐貫ガバナー：国際ロータリー第 2550 地区の皆様、こんにちは。

12 月は、「疾病予防と治療」月間です。疾病にもさまざまな種類がありますが、疾病に対してロータリーが取り組んでいる活動のひとつに「ポリオプラス」があることは皆さんご存知だと思います。では、「ポリオ」とはどんな疾病でしょう？

本日は、2550 地区・ロータリー財団部門の「ポリオプラス並びに資金推進委員会」の委員長であり、現役の医師でもあります、村井邦彦委員長にお越しいただいております。ポリオを中心に、疾病の現状と予防・治療などについて伺いたいと思います。それでは村井委員長、自己紹介からよろしくお願いいたします。

村井委員長：はい、ありがとうございます。村井です。宇都宮西ロータリークラブ所属です。宇都宮市の宝木町で開業医をしております。よろしくお願いいたします。

佐貫ガバナー：ありがとうございました。早速ですが、まずポリオについてお話を伺いたいと思います。ポリオとはどんな病気でしょうか？

村井委員長：「ポリオ」というのは、いま流行っている「コロナ」と同じように、ウイルス性の疾患です。ポリオウイルスの 1 型・2 型・3 型というウイルスによって、主に経口感染をして、だいたい 5 歳以下のお子さんが神経に感染すると歩けなくなってしまうたり、場合によっては亡くなってしまったりする感染症です。実際に発症しているのは、最近ですと、アフガニスタン・パキスタン・アフリカの一部ということになっています。

佐貫ガバナー：ありがとうございます。原因・症状・治療の可能性、患者には将来どのような生活が強えられることになるのでしょうか？

村井委員長：感染しても 90%以上のお子さん…大人も感染しますが…は発症しません。ですがそこがまた問題で、感染して衛生環境が悪いところで糞便中から排出されてそれが飛び散ると、また別の子どもたちがおもちゃをなめたり、指をなめたりして感染してしまうということになります。感染したうちのごく数パーセントなのですが、脊髄まひ・小児まひという形で、足腰が歩けなくなってしまうお子さんが出てしまうことになります。なってしまうと、基本的には治りません。大人になっても、一生不便な生活を強いられることになりますので、予防が第一ということになります。

佐貫ガバナー：ありがとうございます。日本では、このポリオについて皆さん知らないことが多いのですが、なぜ皆さん知らないのでしょうか？

ガバナーからの
メッセージ動画は
youtube で
視聴できます。

YouTube

GOVERNOR'S
message





感染したうちのごく数パーセントなのですが、脊髄まひ・小児まひという形で足腰が歩けなくなってしまうお子さんが出てしまうことになります。基本的には治りません。一生不便な生活を強いられることになります。

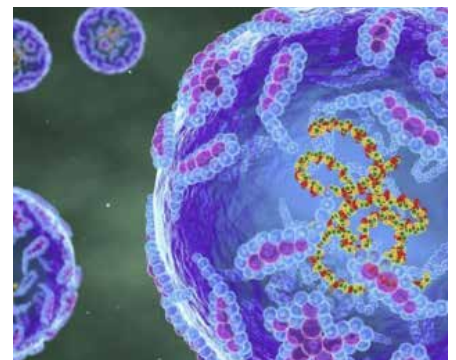
村井委員長：（小さい子どもをもつ）お母さん方はご存知だと思います。4 種混合（ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオを予防するワクチン）など、子どものうちに予防接種をしています。日本ではほとんど（の子どもは）接種していますので、発症することはめったにありませんし、実際に何十年も日本での発症例はありません。（国外から）持ち込んだものは別ですが。（日本国内での感染・発症は）ないのですが、例えばアメリカでも最近になって、（国外から）持ち込まれて発症したというのがビッグニュースになりました。（その発症者は）予防接種はしていませんでした。日本でも、もし予防接種をしていないお子さんがいれば、持ち込まれて感染して発症するリスクはあります。世界中でも先進国も含めて、ずっと予防接種はしていかなければいけないということが、唯一の今の感染を防ぐ方法ということになります。今後ですが、ロータリーそして G P E I（Global Polio Eradication Initiative）では、ポリオの根絶を目指しているわけなので、発症する人がいなくなり、ウイルスが増殖する場所がなくなれば、地球上から天然痘に次ぐウイルスによる感染症の根絶ということが達成できることになります。

佐貫ガバナー：日本のロータリーはポリオ根絶に向けてどんな支援をしてきたのか、そしてどんな支援方法があるのか教えてください。

村井委員長：ロータリーのポリオ根絶活動は、1987 年フィリピンでスタートしました。以降、ロータリーでは何度か…例えば「2000 年までにポリオを根絶する」という目標を立てたことがあったのですが、ご存知のとおりまだ達成できていません。その中で、最初はロータリーが中心で、そのあとは G P E I でさまざまな団体と一緒に、ポリオ根絶活動をしています。主には会員の皆さまのご寄付によって、その活動が支えられているということになります。もちろん、現地の視察などいろいろな形で関わってくださっているロータリアンもいらっしゃいます。

佐貫ガバナー：ポリオ以外でロータリーが取り組んでいる疾病対策や支援はほかにはありますか？

村井委員長：「ポリオプラス」ということで、疾病予防・対策はまずはポリオからスタートしましたが、それ以外にもジフテリアや黄熱、最近ですとコロナ、マラリアなどいろいろな病気があります。ポリオの現地調査員や現地で薬を運ぶロジスティックを通じて、いろいろな病気の監視活動・予防活動や、きれいな水を提供する、石鹸で手を洗う習慣をつけるなど、そういったところにも介入して、全般的な感染対策や健康向上の活動をしているのが「ポリオプラス」ということになります。プラスの部分で、はしか・ジフテリア・結核・破傷風・百日咳などがあがっており、ほかにも黄熱・エボラ・マラリアなど、こうしたいろいろな感染症の対策をしています。マラリアの年間感染者数が約 2 億人、H I V が 3800 万人、結核が 1000 万人、こういった疾病を全体的に感染症の対策としてみていくことも「ポ



2022 年 7 月米ニューヨーク州保険当局は、成人の若者一人がポリオに感染したと発表

リオプラス」の意義のひとつということになります。

佐貫ガバナー：やはりロータリーとして各国・各地域のロータリークラブが取り組んでいるのですね。

村井委員長：ロータリーで一番大きなものは、R I が毎年 5000 万ドルずつお金を集めています。そしてご存知のとおり、ビル&メリンダ・ゲイツ財団がその 2 倍の 1 億ドルを積んで、合わせて 1 億 5000 万ドルをロータリーが G P E I に提供している形になっています。

その資金で、現地監視員の給料や現地活動が支えられていたり、ワクチンの輸送や教育などが提供されたりしているということになります。

佐貫ガバナー：ポリオですが、ワクチン型と野生型があるといわれていますが、現況はどのようになっていますか？

村井委員長：野生型ポリオの根絶を我々は念頭に置っていますが、野生型はアフガニスタン・パキスタン、それから一度根絶宣言をしたアフリカも昨年からまた出てしまったということで、これが完全になくなってアフリカは大丈夫と言えるかどうかです。

もうひとつ、経口生ワクチンを使っている影響で、ワクチン由来の発症例というのがあります。発症して従来の野生型と同様に伝播する…つまり便からほかの子どもに感染するというのが、アフリカ地域やアジアなど地球上のかなり

広い地域で野生型よりも多く発症しているという問題がありますので、これに対しても対策をしているところです。

佐貫ガバナー：ワクチンですが、新しいワクチンが出てきたという話も聞くのですが。

村井委員長：はい。まさにその対策の話なのですが、先進国ですと日本を含めて、いわゆる「不活化ワクチン」という注射を打つわけですね。価格がそれなりに高いということで、アフリカ地域やアジアの一部の地域では、その価格が難しいということがあります。順次切り替えをしているのですが、もうひとつ、2021 年から期待できる予防策としては、「経口生ワクチン」の新しいものが作られています。何がいいかというと、生ワクチンですが今世界中で発症しているワクチン由来のものは 2 型ウイルスに対するものなのですが、今度新しく出たワクチンは、世界中で発症しているタイプのものを除いたものということで、これから先はワクチン由来の発症例は順次減っていくのではないかと十分に期待できると思います。

スケジュールとしては、2021 年に新しい経口生ワクチンを使い始めて 5 か年…2026 年までにワクチン由来の発症例（の根絶）、それから野生型の根絶、この 2 つの目標を立てていると

いうことになります。

佐貫ガバナー：お言葉の中に「G P E I」とありましたが、これはどのような内容でしょうか？

村井委員長：「G P E I」とは、「世界ポリオ根絶イニシアティブ」といって、WHO（世界保健機関）やロータリー、アメリカの疾病センター「C D C（米国疾病予防管理センター）」、ユニセフ（国連児童基金）、先ほど申し上げたビル&メリンダ・ゲイツ財団、GAVI 世界ワクチン機構（ワクチンアライアンス）…こうしたところが連合して「G P E I」という活動を作っているということになります。

佐貫ガバナー：私たちロータリアンは、このポリオに対してどのように支援していったらいいか、教えてください。

村井委員長：ロータリアンの皆さまには、まずポリオという病気のことを知っていただいて、そしてロータリーが長年取り組んできたポリオ根絶活動が、今まさに成果を遂げようという段階だということを知っていただくということだと思います。その上で、毎年 5000 万ドルを提供していくので、ご寄付についてもご理解いただくということになります。寄付の方法については、クラブでいくらという目標を立てて集めていただいているものもありますし、またロータリーカードというものもあって、利用額の 0.3% が直接ポリオの基金として提供していただけることになっているので、こうした寄付のしくみを知って、ぜひこの機会にご協力をいただきたいと思います。



地球上から天然痘に次ぐウイルスによる
感染症の根絶に向けて 今、行動する

佐貫ガバナー：カードのことですが、（カードを使って）私たちが買い物をする、0.3% または（法人カードなら）0.5% がポリオの資金となるのですが、これは我々のカードから引かれるのではなく、カード会社が負担してくれるということなので、皆さまにカードを使っただけでその分だけカード会社が払ってくれるという制度になっています。また、このカードに関しては、オリコとダイナースの2社に限られるということで、ほかのカード会社では扱っていません。2 社に特化しており、地区大会においてもコーナーを作って皆さまに取り組んでいただきたいと思います。ぜひご協力をお願いいたします。

ロータリー・クレジットカードの御案内ページへ

Orico
ロータリーカード
入会申込サイトへ

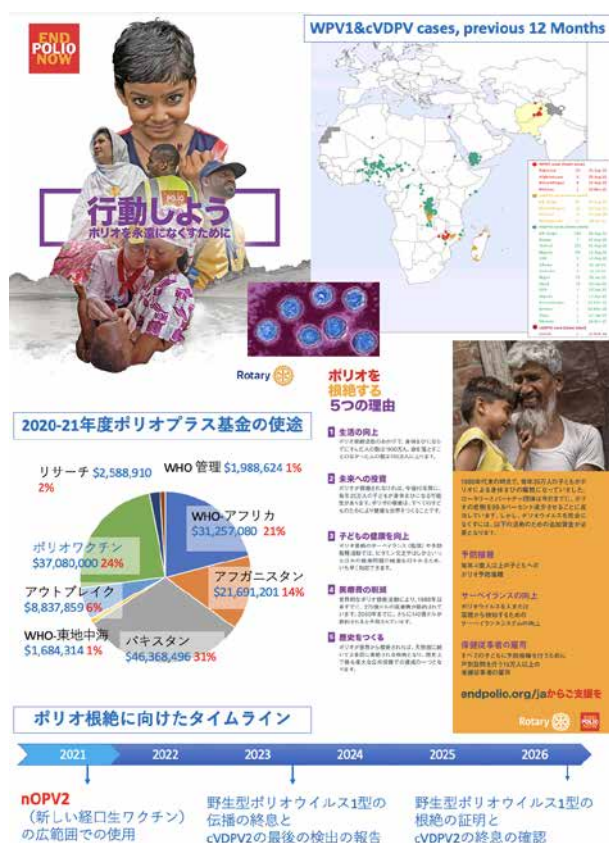
Diners Club
ロータリー
コーポレートカード
入会申込サイトへ

今回は、「疾病予防と治療」月間にちなみ、いろいろなお話を伺いました。12 月 10 日・11 日、特に本会議の 11 日には会場のエントランスホールにコーナーを作っています。そこに大きなパネルを展示してありますので、見かけましたらそのコーナーに行ってロータリーカードを作ることをお願いいたします。今後、2550 地区では、このような取り組みをさらに進めていきたいと思っておりますので、どうぞご協力のほどをお願いいたします。

村井委員長、今日はどうもありがとうございました。

村井委員長：はい。ありがとうございました

地区大会でのパネル



2022.10.12

Governor's
Official Visit

真岡西ロータリークラブ

会 長 田尻 健司
幹 事 田上富美子

10月12日、佐貫ガバナーを真岡西 RC にお迎えし、組織規程や規定審議会での実際の運営などについて、お話を伺いました。ロータリアンはお互いの違った考えを認め合い、思いやりをもって話し合う必要があること。そこで生まれる思いから自己改善が図ることができ、結果として奉仕の心が育まれる、というのがロータリーの親睦の源だということ。また、今何をすべきかを問い続け、多種多様性をもったロータリーの組織がいかに強力なものになるかを強調されておりました。また、今年度の地区目標で説明が必要な事項や、クラブ活動の重点課題と目標の明確化、女性会員を増やす努力など、たくさんの課題を示されました。そのために、クラブ会長の指導力が必要との思いも示されました。こうしたお話を伺いながら思いをはせたのは、人の性（さが）についてでした。動物はお腹が一杯になるとそれ以上のものは殺しません。人間は1億もつと10億、10億もうけたら100億といくのではないのでしょうか。欲と抑止力のコントロールが次世代の課題と思います。そのためには、1人1人の人間が自分の考え方、自分の哲学、自分の価値観を持つしかないでしょう。人間から欲を無くしたら、人類は滅びてしまいますし、道徳がなければ社会は混乱が起こります。これを救えるのは世界でただ一つロータリーの心ではないのでしょうか。人類に別々に与えられた相反する心を、奉仕活動を通して調和させていくのがロータリーの心の1つと思っています。真岡西 RC は女性会員もいます。調和のとれたクラブです。



2022.10.13



Governor's
Official Visit

日光ロータリークラブ

会長 相良 芳隆
幹事 岸野 稔

当日は午前 11 時～ 12 時に、佐貫直通ガバナー・湯澤義典ガバナー補佐をお迎えし、当クラブからは相良会長・岸野幹事・今井会員増強委員長が出席し、会長・幹事懇談会が開催されました。先ず、相良会長より当クラブの現状・課題について説明し、懇談に移りました。会長からの説明に加え、「現況報告書」等により当クラブの現状等を深く認識しておられたガバナーより、オンライン等の IT 活用の推進による区域境界の超越、若い人の力を借りる～ロータリーに“入れる”から“手伝ってもらう”～への発想転換、日光の有す歴史・多数の外国人訪問者等の“宝”を活かした活動の活発化を、等々多くの御指導・御助言を賜りました。

午後は 12 時 30 分～ 14 時 30 分に、記念撮影の後、日光 RC 第 3034 例会とオープンディスカッションが行われました。例会での佐貫ガバナーと相良会長によるバナー交換の後、プロジェクターを利用してガバナーによる卓話がなされました。ジェニファー RI 会長の方針特に“DEI”について、2022 規定審議会について等々 RI の最新動向について、続いて地区方針等について詳細なご説明を戴きました。

会長・幹事懇談会やディスカッションでの、佐貫ガバナーの丁寧且つ真摯なご説明は、会員一同にとって価値ある一時となりました。ご多忙の中の御来訪感謝申し上げます。



2022.10.14



Governor's
Official Visit

小山東ロータリークラブ

会 長 野口 起生
幹 事 塚原 義朗

10月14日（金）佐貫直通ガバナー様を迎え公式訪問例会を開催しました。当日は公式訪問後、羽田から北海道へ向かうという大変忙しいスケジュールの中での訪問例会でした。午前11時より佐貫直通ガバナー様、山中史朗ガバナー補佐様、橋本正行様、尾崎弘明様同席のもと、当クラブより野口会長、前田会長エレクト、橋本幹事エレクト、上野増強委員長、塚原幹事出席にて会長・幹事懇談会を行いました。ロータリー情報が今年度よりデジタル化され、今後もいろいろな点でオンライン、デジタル化が進む点やローターアクターが会員として承認された等、今後も多様性、公平性、インクルージョンが進み、ロータリークラブが変化していくとの話でした。会員増強においては、小山市は人口の推移や年齢構成が他地域より若い大いに期待出来るとの話でした。色々工夫して実行する事が大切であるとの事でした。午後12時30分より例会を開催し、佐貫直通ガバナー様よりパワーポイントを使用して大変分かりやすくデジタル化や多様性、会員増強等の卓話していただきました。当クラブでは、今年度地区奨学金をいただいた山中君が現在アメリカに留学中であり担当者を決めてサポートしています。また、貧困家庭対策のために小山市内で活動している2団体に寄付を行います。また、現在会員数が22名と少ないですが、先日の小山商工会議所の議員総会において会頭に当クラブの野口会長が就任され、さらに副会頭に2名、議員に7名と多くの会員が小山市の経済界の一翼をになって活躍しています。今後もロータリークラブを通じて地域のために活動していきたいと思っています。



2022.10.21



Governor's
Official Visit

黒羽ロータリークラブ

会 長 丹野 洋
幹 事 大西 広明

2022 年 10 月 21 日（金）ホテル花月において、第 2550 地区ガバナー佐貫直通様、第 1 グループガバナー補佐小西久美子様、宇都宮陽東 R C 長谷川晃会員、渡辺玲子会員をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

残念なことに、丹野洋会長が直前に新型コロナウイルスの濃厚接触者になってしまったために、3 密対策を考慮して例会は中止とし、ガバナー、ガバナー補佐、直前会長、幹事の 4 名により懇談会形式で行われました。はじめに R I 会長の方針、ガバナーの地区方針・目標について、そして、特に 2016 年からのロータリーの変革について、また R I の推奨する多様性、公平さ、インクルージョン・D E I の説明を受けました。次に、当クラブのここ数年の最大目標である会員増強については、地域の人々に新たなイベントを行い、ロータリークラブをより一層周知して頂くこと、候補者に外来卓話をお願いする、オープン例会を開く、2 人以上の女性会員を同時に入会して頂く、また近隣の市町の人々にも目を向けるなどして、是非とも会長中心に実践してくださいと激励を受けました。

これからは魅力ある元気なクラブを作るために、原点に帰ってロータリー活動を行っていききたいと思います。

2022.10.26



Governor's
Official Visit

鹿沼東ロータリークラブ

会 長 前田 裕之
幹 事 鈴木 勤

2022年10月26日(水)当クラブ例会場(鹿沼商工会議所3階)にてガバナー佐貫直通様、第7グループガバナー補佐湯澤義典様、宇都宮陽東RC皆藤哲雄様をお迎えし、「2022-23年度 ガバナー公式訪問」を行いました。会長・幹事懇談会では公式訪問直前の10月24日に実施された鹿沼市近隣3クラブでの「世界ポリオデー」イベント実施の報告や、会員増強ならびに会員退会防止への働きかけなどについてアドバイスいただきました。例会では新入会員入会式バッジの授与に続いて、ガバナーより多様性・公平さ・インクルージョン・包括性の重要性についてご説明いただき、これらを積極的に取り入れる事が会員増強につながるとご指導をいただきました。また当クラブの今年度テーマ「縁〜つなぐ〜」が居心地の良いクラブ作りにつながるともご評価いただき、その後の質疑応答でも活発な意見交換ができました。ガバナー公式訪問にあたり、本年度のさらなるご活躍を御祈念申し上げると共に、佐貫ガバナーとの有意義な時間を共有できましたことを会員一同心より御礼申し上げます。



2022.10.27



Governor's
Official Visit

小山ロータリークラブ

会 長 岩崎 晴一
幹 事 黒澤 昭夫

2022 年 10 月 27 日 (木) (於 : 小山グランドホテル) 第 2550 地区ガバナー佐貫直通様、第 5 グループガバナー補佐山中史郎様 (随行者 : 宇都宮陽東ロータリークラブの増淵貴之様、岩本達之様小山南ロータリークラブの尾崎弘明様) をお迎えしガバナー公式訪問例会が執り行われました。会長・幹事懇談会では当クラブからは岩崎晴一会長、黒澤昭夫幹事、小浦正久会長 エレクト兼副会長、中尾聡副幹事が出席し開催されました。山中ガバナー補佐の進行のもと出席者の自己紹介から始まり、事前に提出していただいた現況報告書を詳細に確認していただいていたガバナーより当クラブの問題点・質問事項について、的確細やかなアドバイスや様々なご指導をいただき極めて有意義な懇談会となりました。例会ではガバナー卓話の中で今年度のテーマである「イメージロータリー」を引用し文化の多様性、公平さ、インクルージョン (DEI) や DX に関する重要性が熱く語られました。又、佐貫ガバナーが各クラブ向けに内容を作成頂いたパワーポイントでは出席者全員が聞き入り、入会時説明資料等会員増強、退会防止につながる行動計画実施の方向性が示されました。当クラブでは本年度会長方針の基、会員増強特別委員会を設置し純増 3 名の入会者を目標に最優先の課題として引き続き取り組んで参ります。ここ数年コロナ過の限られた時間の中で、当クラブやクラブメンバーにとって多くの気付きと元気をいただく価値ある貴重な 1 日となる佐貫ガバナー公式訪問を、無事執り行うことができました。

御多用中で来訪いただいた佐貫ガバナーに深く感謝申し上げ、今年度公式訪問の報告とさせていただきます。

我がクラブの奉仕活動

障害児童、貧困家庭等への継続支援

1. 栃木県立国分寺特別支援学校への継続支援。
2. 子どもの居場所「おひさま」「ビリーブ」への継続支援。
3. 栃木公立夜間中学校研究会への協賛。



Governor's
Official Visit

岩舟ロータリークラブ

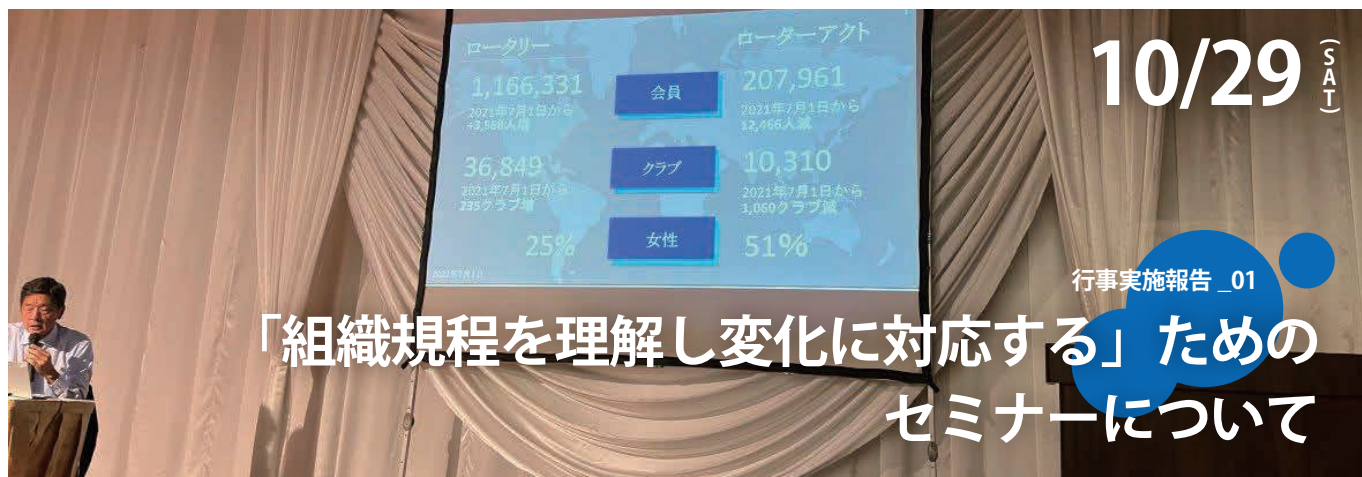
会 長 新井 正人
幹 事 五十畑賀章

11月1日(火)17時20分より、栃木市岩舟町の「岩舟町商工会館」にて佐貫ガバナー、大木ガバナー補佐、宇都宮陽東 RC より随行員の竹田真臣様、熊本範章様をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。昨年度と同様に今年度の公式訪問もコロナ過での開催ということもあり縮小となりました。会長幹事懇談会では2022-2023 国際ロータリーの、ジェニファー E. ジョーンズ会長のテーマ「イマジン」や「DEI」についての説明や、第2550地区の「～ロータリーを理解し 想像し 多くを達成しよう～」についての取り組みについて説明を頂きました。ハラスメントやポリオ、ロータリー財団、地区補助金、米山基金の活用など大変勉強になりました。オープンディスカッションは中止となりましたが、ご挨拶の中でロータリーの在り方などをお話しいただき、会員も貴重な時間を過ごすことが出来ました。今回の公式訪問より、今後のクラブ運営に役立て、少人数クラブならではの活動に生かしていこうと思います。佐貫ガバナー並びに来訪者の皆様、誠にありがとうございました。

〈我クラブの奉仕事業〉

- ・ 近隣小学校への善行篤行児童表彰
- ・ 特別支援学級生徒児童への物品贈呈
- ・ 旧岩舟町の町花(コスモス)の種まき事業
- ・ 地域との交流事業
(サマーフェスタ、健康福祉まつり、軽トラ市など)





さる、10月29日に中谷研一研修リーダーによりますセミナーが開催されました。会長幹事や多くの地区役員が出席され、短時間でしたが、非常に内容の濃いセミナーでした。講師の先生は、国際ロータリー第2500地区 釧路ロータリークラブパストガバナーの小船井修一様でした。組織規程や規定審議会、そしてRI理事会提案にみるRIの戦略等、多岐に亘る90分でした。私達は規定審議会の名前は知っていても、日頃から十分に関心や理解を求めず、その年度に関係するクラブ役員が気にする程度であったと思います。今回のようなセミナーが、非常に重要かつ必要なセミナーだと感じましたのは、私だけでしょうか？規定審議会に話を戻しますと、3年おきに改定され、本年2022年がその年になります。もうすぐ、My Rotaryに掲載になるとということです。その規定審議会での過去の変遷を見てみますと

2019年 ローターアクトクラブのRI加盟事務総長が経営最高責任者・・・等

2016年 「柔軟性」というキーワードであらゆる変革・・・等

さらにさかのぼりますと、数々の決定がこの規程審議会で行われたことが判ります。今、「変革するロータリー」と言われますが、かなり以前からというより、常にRIは変革をしていることが判ります。RIの戦略につきましては、私達日本のロータリアンにはかけ離れていることが多々あるかと思いますが、思うか思わないかは別にしまして、変革していることは認識しないわけにはいきません。拙い私の報告より、今回のセミナーのまとめを講師の小船井修一様にお願ひしました。下記のとおりです。今回の研修を通して、変革するRIの中で、自クラブの存在意義の再確認に参考になれば幸いです。貴重なセミナーでした。ありがとうございました。

【小船井修一先生のまとめ】

ポイントは以下の3点

- (1) 規定審議会は「他人事」ではなく、クラブ運営ルールを世界中の代表議員が民主的な方法で審議し採択していることへの理解が必要です。
- (2) 組織規程(RI定款・細則、標準ロータリークラブ定款)を理解する事を通して、「ロータリーの変化」を認識していただければと思います。
- (3) クラブにとって大事なことは、標準ロータリークラブ定款はクラブが遵守する義務がありますが、「ロータリーの変化」に適応した「クラブ細則」を改訂することが一番大事である。

そして、クラブ細則を改訂するための着眼点は

- ➡「旧態依然」の運営で「消滅の危機」を迎えないためにどうすればよいのか？
- ➡クラブ会員にとって「有益」なクラブになるためにはどうすればよいのか？
- ➡クラブの活性化（ひいては会員基盤の充実）のための柔軟性の導入が効果的なのか？



報告者 地区幹事 橋本正行



2022年11月12日(土)～13日(日)、宇都宮市のコンサーレ(栃木県青年会館)を会場に、一泊二日のRYLAセミナーを開催いたしました。受講生は28名でした。コロナウィルス感染の影響で3年ぶりのセミナー開催となりました。また、セミナースケジュールを、これまでの二泊三日から一泊二日に短縮したため、プログラムの変更など RYLA 学友会を含む委員会一同、細やかなミーティングを重ねて、受講生に有意義な二日間を過ごしていただけるよう努力してまいりました。

最初のプログラムは、緊張して受付をされていた受講生同士が打ち解けられるようにとコミュニケーション型のプログラムとしました。少しずつですが受講生に笑顔が見受けられ、会話も聞こえてくるようになりました。その後、基調講演では、考え方や見る角度でポジティブに物事をとらえることができることを再確認する講和を聴き、スポーツの要素を取り入れたプログラムで受講生同士が更に打ち解けてゆきました午後からは、恒例の模擬国連を体験していただきました。初対面の受講生同士が2名で1国、14か国の大使となり議題「安全保障理事会の議席の衡平配分と拒否権」について議論しました。

受講生たちは、各国のスタンスペーパーをもとに、自国および他国についてウェブなどを利用してリサーチし、国益や他国との妥協点などを見つけていきました。このプログラムでは、コミュニケーション能力だけでなく、プレゼンテーション能力向上も狙いとなっております。初めての環境に慣れないながらも、頑張ってプレゼンをされている姿が印象に残りました。夕食でほっとした時間を過ごすと、最後のプログラムです。こちらでは、5グループに分かれ、テーマに沿ってディスカッションをし、グループごとの考え方や解決策を演劇方式で発表していただきます。翌日の成果発表に向けて各グループともに発表方法などをディスカッションしながら信頼関係も深まり、24時に消灯となりました。



最終日は、グループ別ディスカッション成果発表の最終準備後、推薦ロータリークラブのロータリアンとの顔合わせとなりました。ロータリアンとの昼食で和やかな時間をすごせたのではと思います。昼食後は、いよいよ成果発表です。各グループともガバナー賞獲得を目指して、工夫を凝らした発表ができました。ガバナー賞を獲得したグループは大変うれしそうな表情で感想を述べていたのも印象的でした。当地区のRYLAセミナーは、プログラムの多くをRYLA学友会のメンバーに任せているところが特徴です。RYLA学友会は、過去にRYLAセミナーを受講したメンバー有志で構成されております。世代的にセミナーの受講生に近いこともあり、受講生に寄り添った運営ができるのでは？との思いから現在のスタイルを取り入れております。今回は、米山記念奨学生を受講生が多かったため、いろいろな国の方と交流ができよかった、との受講生からの感想があり、委員会としても大変うれしく感じました。

最後に、RYLAセミナー開催にあたり、受講生をご推薦いただいた事業所およびロータリアンの皆様、スポンサークラブの皆様、ガバナー、カウンセラーをはじめ多くの地区委員の皆様、運営していただいた委員会および学友会の皆様、誠にありがとうございました。今年度の行事としては、2023年6月頃に「高校生RYLAセミナー」も計画しております。その節には、また皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

05 新入・物故会員

新入会員紹介



はせがわひろし
長谷川弘

佐野

2022年11月7日入会

学校法人佐野日本大学学園
理事長

宜しくお願いします。



おそざわあつし
遅澤敦史

栃木

2022年11月1日入会

栃木レザー株式会社
代表取締役

伝統ある栃木ロータリークラブに入会できたことを嬉しく思います。



かねこひろみ
金子裕美

足利東

2022年10月25日入会

足利市議会
議員

皆さんとお会いしてお話しできるとを楽しみにしています。



くりはらひろふみ
栗原裕史

足利東

2022年10月18日入会

和ダイニングー蔵
代表取締役

飲食店に勤務しております。未熟者ですが頑張ります。宜しくお願い致します。

中西 崇介 なかにし たかすけ

追悼

2022年10月21日逝去（享年85歳）

所 属 鹿沼ロータリークラブ

鹿沼第39代会長（1998-1999）

財団、米山記念奨学会などの寄付歴（PHF、米山功労者）MPHF8以上 累計37,601ドル
ボールハリスソサイエティ（PHS）ベネファクター 累計7,800ドル



◆◆◆ ご冥福をお祈り致します ◆◆◆

22-23 年度 地区内主要行事

月	日	曜日	行 事	場 所	担 当
12	9	金	地区大会記念ゴルフ大会	宇都宮カンツリークラブ	ホスト:宇都宮陽東RC
12	10	土	2022-23 地区大会 会長・幹事会 指導者育成セミナー RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会	ベルヴィ宇都宮	〃
12	11	日	2022-23地区大会 本会議	ライトキューブ宇都宮 (宇都宮駅東)	〃
12	11	日	青少年交換オリエンテーション・クリスマスパーティー	ベルヴィ宇都宮	〃
12	15	木	23-24年度第3回ガバナー補佐研修	ベルヴィ宇都宮	
12	18	日	2023学年度米山記念奨学生面接選考試験	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
12	25	日	22-23第2回諮問委員会 ガバナーエレクト仕行会	ホテル東日本宇都宮	ガバナー事務所

2023 年

2	4	土	第9グループIM		第9グループ
2	5	日	第3回諮問委員会	ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
2	5	日	第2回地区運営委員会	ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
2	5	日	第6グループ IM		第6グループ
2	9	木	第3グループAB IM		第3グループAB
2	11	土	23-24年度財団補助金管理セミナー	ベルヴィ宇都宮	地区財団補助金委員会
2	12	日	青少年交換オリエンテーション日本文化体験	宇都宮 多気山不動尊	地区青少年交換委員会
2	18	土	23-24地区チーム研修セミナー	ベルヴィ宇都宮	佐野RC・ガバナー事務所
2	18	土	23-24年度第4回ガバナー補佐研修	ベルヴィ宇都宮	
2	18	土	第8グループIM	ニューミヤコホテル	第8グループ
2	25	土	第5グループIM	小山グランドホテル	第5グループ
2	26	日	米山記念奨学会 修了式・歓送会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
3	5	日	第4グループIM	フォーシーズンズ静風	第4グループ
3	19	日	23-24会長エレクト研修セミナー (PETS)	葛生あくとプラザ	ホスト:葛生RC
3	19	日	23-24幹事エレクト研修セミナー (SETS)	葛生あくとプラザ	ホスト:葛生RC
3	26	日	第7グループIM	ニューサンピア	第7グループ
4	9	日	米山新奨学生・カウンセラー対象オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
4	14	金	第25回親善野球大会 前々夜祭(予定)	調整中	ホスト:鹿沼RC
4	16	日	第25回親善野球大会(予定)	鹿沼運動公園野球場	ホスト:鹿沼RC
4	16	日	23-24年度派遣学生 オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
5	14	日	23-24地区研修・協議会	佐野日大高校	ホスト:田沼RC
5	14	日	23-24年度第5回ガバナー補佐研修	佐野日大高校	
5	20	土	宇都宮陽東ロータリークラブ創立30周年記念式典・祝賀会	ベルヴィ宇都宮	宇都宮陽東RC
6	4	日	22-23青少年交換最終オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
6	8or15	木	23-24年度第6回ガバナー補佐研修		
6	18	日	米山 第1回地区米山委員会・奨学生卓話研修会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会

07 会員数報告

国際ロータリー第 2550 地区 9 月会員増強・出席報告

分 区	クラブ名	例回数	会 員 数								40歳未 満
			7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性 会 員	
第1 グ ル ー プ	大 田 原	2	24	23	0	0	0	1	-1	1	0
	黒 磯	3	33	35	0	0	2	0	2	3	0
	西 那 須 野	3	47	49	1	0	2	0	2	3	0
	黒 羽	3	7	7	0	0	0	0	0	0	0
	大 田 原 中 央	3	24	23	0	0	0	1	-1	1	2
第2 グ ル ー プ	鳥 山	3	15	15	0	0	0	0	0	2	0
	氏 家	3	23	23	0	0	0	0	0	2	0
	矢 板	4	10	9	0	0	0	1	-1	1	0
	馬 頭 小 川	3	21	21	0	0	0	0	0	0	0
	高 根 沢	2	14	14	0	0	0	0	0	0	0
第3 A グ ル ー プ	宇 都 宮	3	105	106	1	1	3	2	1	3	1
	宇 都 宮 西	4	68	67	0	2	1	2	-1	0	2
	宇 都 宮 北	4	41	44	1	0	3	0	3	0	1
	宇 都 宮 90	4	45	45	0	0	0	0	0	5	3
	(宇都宮90結・衛星)	2	4	4	0	0	0	0	0	3	2
	宇 都 宮 陽 北	4	46	47	0	0	1	0	1	9	9
	宇 都 宮 東	4	113	112	0	0	0	1	-1	0	3
第3 B グ ル ー プ	宇 都 宮 南	4	57	55	0	0	0	2	-2	7	1
	宇 都 宮 陽 東	4	49	49	0	0	0	0	0	9	1
	宇 都 宮 陽 南	4	23	24	0	0	1	0	1	7	4
	宇 都 宮 さ つ き	4	26	26	0	0	0	0	0	4	2
	真 岡	4	54	54	0	0	0	0	0	0	0
第4 グ ル ー プ	益 子	4	31	31	0	0	0	0	0	2	0
	真 岡 西	4	39	39	0	0	0	0	0	5	0
	下 野 上 三 川	2	19	19	0	0	0	0	0	3	0
	小 山 南	3	22	21	0	0	0	1	-1	1	0
第5 グ ル ー プ	小 山 東	3	14	15	0	0	1	0	1	2	0
	小 山 北	4	23	23	0	0	0	0	0	0	4
	小 山 中 央	3	24	24	0	0	0	0	0	2	0
	栃 木 西	4	47	47	0	0	0	0	0	5	0
第6 グ ル ー プ	栃 木 西	4	34	34	0	0	0	0	0	1	0
	岩 舟	3	10	10	0	0	0	0	0	0	0
	壬 生	3	17	19	0	0	2	0	2	1	0
	栃 木 南	4	40	40	0	0	0	0	0	9	1
	日 光	4	21	21	0	0	0	0	0	4	0
第7 グ ル ー プ	鹿 沼	5	65	65	0	0	0	0	0	2	2
	今 市	3	41	43	0	0	3	1	2	1	1
	鹿 沼 東	4	37	37	1	1	1	1	0	5	0
	鹿 沼 中 央	3	17	17	0	0	0	0	0	2	0
	今 市 き ぬ	2	27	29	0	0	2	0	2	0	0
第8 グ ル ー プ	足 利	2	23	23	0	0	0	0	0	1	0
	足 利 東	3	30	34	2	0	4	0	4	3	0
	足 利 西	2	11	11	0	0	0	0	0	1	0
	足 利 わ た ら せ	3	35	35	0	0	0	0	0	0	0
	佐 野	2	55	54	0	0	0	1	-1	0	0
第9 グ ル ー プ	葛 生	4	36	36	0	0	0	0	0	0	0
	田 沼	3	44	44	0	1	2	2	0	0	0
	佐 野 東	3	21	22	0	0	1	0	1	2	0
	48RC		1654	1667	6	5	29	16	13	112	39

地区大会



イマジン
ロータリー

12/9 (金)

記念ゴルフ大会

会場：宇都宮カンツリークラブ

12/10 (土)

会長・幹事会 地区指導者育成セミナー

会場：ベルヴィ宇都宮

【会長・幹事会】

13 時 00 分 登録開始
13 時 25 分 RI 会長代理入場
13 時 30 分 点鐘
開会の言葉
RI 会長代理紹介
来賓紹介
ガバナー挨拶
13 時 50 分 RI 会長代理挨拶
14 時 00 分 地区会計収支報告
監査報告
承認
14 時 15 分 2021-22 年各種表彰
米山記念奨学会及び
ロータリー財団表彰

14 時 30 分 委員会報告
15 時 00 分 閉会・点鐘
休憩

【地区指導者育成セミナー】

15 時 10 分 点鐘
ガバナー挨拶
地区研修委員長挨拶
中谷研一 研修リーダー
15 時 20 分 基調講演
『ロータリーの変革と成長』
山崎淳一 RI 会長代理
15 時 50 分 パネルディスカッション
16 時 50 分 点鐘

【コーディネーター】

中谷研一 研修リーダー

【パネリスト】

山崎淳一 RI 会長代理
佐貫直通 ガバナー
鈴木 宏 パストガバナー

12/10 (土)

RI 会長代理ご夫妻 歓迎晩餐会

【RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会】 会場：ベルヴィ宇都宮

17 時 00 分 受付・登録開始
17 時 30 分 RI 会長代理ご夫妻入場
開会の言葉
演奏会
歓迎の言葉

18 時 20 分 祝宴乾杯
20 時 00 分 閉会
手に手つないで

RI 会長代理



山崎 淳一

Junichi Yamazaki

税理士・ショッピングセンター経営

1953 年 1 月 青森県つがる市生まれ
東京経済大学経済学部卒業

山崎淳一税理士事務所所長 (株) 経営情報センター 代表取締役社長 五所川原街づくり (株) 代表取締役社長 ~ エルムの街ショッピングセンター管理本部長 五所川原商工会議所会頭

1991 年 五所川原ロータリークラブ入会
2002-04 年 地区ロータリーアクト委員長
2005-06 年 クラブ会長
2008-09 年 RI 第 2830 地区 (青森) ガバナー
2015-16 年 地区研修リーダー (4 回目)
2015-18 年 第一ゾーンポリオ根絶コーディネーター
2015-16 年 米山記念奨学会財務委員長
2016-20 年 米山記念奨学会常務理事
2017-20 年 規定審議会地区代表議員
2019 年 2020 年 RI 研修リーダー
2020-22 年 米山記念奨学会副理事長
2021- 現在 米山梅吉記念館理事
2021- 現在 RLI 日本支部地区支援委員会副委員長

【ロータリー財団】 ロータリー財団大口寄付者 ロータリー財団ベネファクター
ロータリー財団功労表彰状

【ロータリー米山記念奨学会】 米山功労者メジャードナー

12/11 (日)

地区大会本会議

記念講演講師

<午前の部>

- 8時30分 受付・登録開始
- 9時00分 RI 会長代理ご夫妻入場
点鐘
国歌斉唱
ロータリーソング 奉仕の理想
- 9時10分 物故者に対し黙祷
- 9時13分 開会の言葉
- 9時18分 歓迎の言葉
- 9時23分 RI 会長代理・ご来賓紹介
地区外参加クラブ紹介
- 9時30分 ガバナー挨拶並びに地区現況報告
- 9時50分 RI 会長代理挨拶並びに RI の現況報告
- 10時15分 大会委員会報告並びに上程
登録委員会
資格審査委員会
決議委員会
大会決議案採択
選挙管理委員会
- 10時30分 来賓祝辞 佐藤栄一市長
記念行事目録贈呈
- 10時40分 米山学友及び地区米山奨学生紹介
ロータリー財団学友会
諸事連絡
- 11時30分 昼食 休憩

<午後の部>

- 12時30分 特別参加者紹介
青少年奉仕
RYLA
インターアクトクラブ
1年交換留学生
- 13時15分 ローターアクトクラブ発表
- 13時40分 来賓祝辞 福田富一知事
記念行事目録贈呈
- 14時00分 **記念講演 隈研吾氏**
- 15時20分 ガバナー謝辞
- 15時25分 ガバナー補佐紹介
地区内参加クラブ紹介
- 15時45分 各種表彰
- 16時15分 記念品贈呈
RI 会長代理ご夫妻
直前ガバナー・地区幹事・直前会計長
- 16時25分 新入会員紹介
ガバナーエレクト・ガバナーノミニー紹介
ガバナーエレクト挨拶
ガバナーノミニー挨拶
次期地区大会開催ホストクラブ代表挨拶
- 16時40分 RI 会長代理所感
ガバナー謝辞
閉会の言葉
- 16時50分 点鐘

隈 研吾
kengo kuma



©J.C. Carbonne

1954 年生。1990 年、隈研吾建築都市設計事務所設立。慶應義塾大学教授、東京大学教授を経て、現在、東京大学特別教授・名誉教授。30 を超える国々でプロジェクトが進行中。自然と技術と人間の新しい関係を切り開く建築を提案。主な著書に『全仕事』（大和書房）、『点・線・面』（岩波書店）、『負ける建築』（岩波書店）、『自然な建築』、『小さな建築』（岩波新書）、他多数。



会場：ライトキューブ宇都宮

宇都宮駅東口直結

ロータリアンの皆様へ

ロータリアンの皆様には、日頃からロータリー活動に対し、深いご理解を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、2022-2023 年度地区大会は、RI 会長代理に御所川原ロータリークラブの山崎淳一様をお迎えし、12月9日(金)宇都宮カンツリーにて記念ゴルフ大会、10日(土)はベルヴィ宇都宮にて会長・幹事会地区指導者育成セミナー及び RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会、そして翌 11 日(日)には、本会議をこの地区大会で初めて使用されます、宇都宮駅東口に新たに誕生しました、『ライトキューブ宇都宮』にて開催されます。

今大会は、ジュニア・ジョーンズ RI 会長が提唱された『イマジン ロータリー』のもと、一人一人のロータリアンが想像力を発揮して、多様性、公平さ、インクルージョンを認識し、お互いを尊重し相互理解できる機会となればと思います。ロータリー最大の祭典である地区大会に、一人でも多くの会員とお会いできることを楽しみにしております。



2022-23 年度
ガバナー

佐貫 直通

Naomichi Sanuki

【宇都宮陽東ロータリークラブ】



2022-23 年度
地区大会実行委員長

菊地 澄男

Sumio Kikuchi

【宇都宮陽東ロータリークラブ】

会場案内

地区大会本会議

ライトキューブ宇都宮

〒321-0969 宇都宮市宮みらい 1-1

TEL 028-632-2858



会長・幹事会 / 地区指導者育成セミナー / RI 会長代理御夫妻歓迎晩餐会

ベルヴィ宇都宮

〒321-0945 宇都宮市宿郷 5-21-15

<https://www.bellevie-u.com>

TEL 028-633-1165

記念ゴルフ大会

宇都宮カンツリークラブ

〒320-0051 宇都宮市上戸祭町 3100

<https://www.utsunomiya-cc.co.jp>

TEL 028-624-7221



2022-2023 年度

国際ロータリー第 2550 地区 地区大会事務局

ガバナー事務所内

〒321-0945 宇都宮市宿郷 5-21-15 ベルヴィ宇都宮内

TEL 028-651-2550 FAX 028-651-2551 E-mail m2550@agate.plala.or.jp

ホストクラブ: 宇都宮陽東ロータリークラブ



コーディネーター NEWS

2022年12月号 No.1

発行: Region 1, 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 今井 高志（弘前）

私の所属している国際ロータリー第2830地区(青森)と隣の同第2540地区(秋田)は、人口減少率が日本で一番と二番の県である。そういう中で、ロータリーの会員数も減少を続け、2022年7月末現在の会員数は、第2830地区は1110人、第2540地区は1118人となっている。

2013年度規定審議会で改正されるまでは、「RI理事会は会員数が1200名未満の場合、地区の境界を変更することができる」になっていた。当時の第2830地区と第2540地区の会員数は1200名を下回っており、このままだと合併させられるとの思いから、2013年度規定審議会において、両地区の共同提案により、1200名未満から1100名未満に改正された。賛成288票、反対229票の僅差だったようである。

会員増強を図るためにどうしたら良いのか。一つの鍵はロータリーの公共イメージを向上させることだろう。

各地区で、ロータリーの認識度調査を行っているが、その結果を見ると、ロータリーの名前を認知しているのは6割程度いるものの、詳細認知となると1割しかいない。認知されている活動も、会員の交流、地域の社会奉仕、募金活動などで、ロータリーの最優先事項である「ポリオ根絶」に至っては、認知度は10%を切っている。

対応策としては、各地区、各クラブで行われている素晴らしい奉仕活動を、今まで以上に多くの方々を巻き込んで行うこと、そしてマスコミにも取り上げてもらうこと。その結果がロータリーの公共イメージの向上に繋がるのではないと思う。

とくに、「ポリオ根絶」については、ロータリーの最優先事項として取り組んでいることをもっと知ってもらえないといけない。今年の世界ポリオデーは、佐藤RI理事の呼び掛けで、全国各地でイベント等が開催され、大いに盛り上がった。これを一過性に終わらせないで、来年10月24日の世界ポリオデーでは、全国各地で「赤いTシャツ」がやたら目立つようになりたいと思う。と同時に「ポリオ根絶活動」は普段から地道に行っていかなければならない。

ロータリーには「意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある」という目的があるが、ロータリーへの入会のきっかけ、動機、目的は一人一人違うだろうし、ロータリー観すら一人ひとり違うかもしれない。

そうであればこそ、ロータリーにとって「どんな活動をしているか」は重要なことである。ポール・ハリスが次のような言葉を残している。「ロータリーが私たちにとって何を意味するにせよ世界はその活動成果によってロータリーを知るのです」

まさにその通りだと思うが、私個人は活動成果の中には、当然「個人の言動」も含まれているのではないと思う。当たり前ではあるが、個人的にも職業人としても素晴らしい人たちがいて、素晴らしい活動をしているところに、人が集まってくる（会員が増える）のではないと思う。



第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 保延 輝文（石岡）

今から20数年前、私がロータリーに入会し数年たった頃の事です。たまたまクラブの広報委員長になり、ガバナー公式訪問のクラブ協議会で、「広報委員会では、新聞記者との懇談会を開き奉仕活動を記事にさせていただけるようにしたい」と発表したところ、当時のガバナーより「そのようなことは必要ありません」と一蹴されてしまいました。その時の記憶が今でも鮮明に残っており、当時のロータリーの謙虚さがよくわかる思い出となっております。

時は過ぎ2年前に、ロータリー公共イメージコーディネーター補佐を拝命いただきましたが、公共イメージといってもまだ漠然としたイメージしかわきませんでした。しかし、ロータリー公共イメージコーディネーターの会議を重ねるうちに、公共イメージを向上させる戦略、地区への支援の方法等への奥深さを強く感じた次第であります。

今年度、佐藤芳郎RI理事は10月24日の「世界ポリオデー」に全国の各クラブが、同日にポリオに因んだイベントを行うよう目標を掲げられました。公共イメージを向上させるためには、全会員が協力し、ブランド力を高めなければなりません。各地区が「世界ポリオデー」に参加し活動することは、会員相互の信頼・協力が生まれ、活発なクラブ運営につながると期待しております。

そのような中、今年度は新たに、第2地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐の桑澤一郎氏が立ち上げられました「世界ポリオデーポータルサイト」は、ポリオに関する資料、クラブ、地区同士の情報共有の場を提供されました。また、ポリオデーで行ったイベントに対するフォトコンテストも受け付けるサイトになっております。ファンドレイジングや公共イメージアップには画期的なことだと思います。また新聞の全国版の一面にロータリーの活動、理念、ポリオへの活動等を掲載されたことは、さらに強くロータリーの公共イメージを高めたと思います。

私は今年度より、地区学友会委員長を拝命いたしました。インターアクト、ローターアクト、米山奨学学友、ローテックス等の学友の方々には、積極的に奉仕活動に参加していただき、ロータリーを少しでも理解を深めていただきたい。また、いかに広報活動が大切かを発信していきたいと思います。それを踏まえて学友会の皆様には、将来のロータリーを担って頂きたいと思います。

また私の地区では、数年前より特別仕様のロータリー広報車を公式訪問時に使用し、今も元気に街を走り回っております。一人でも多くの皆様にロータリーの活動を知っていただきたいと思います。この様な一歩も公共イメージに大いに貢献すると確信しております。





第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 中川 高志（大宮）

今年度から第1地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐を拝命しました大宮 RC の中川高志と申します。よろしくお願いいたします。

2018-19 ガバナー年度終了後、昨年度まで3年間地区ロータリー財団委員長に就任していました。ガバナー前にも3年間ロータリー財団に出向していましたのでロータリー財団歴だけは長い部類に入るのではと思っています。今回は自己紹介を兼ねて地区ロータリー財団委員会（2770 地区では財団部門と呼んでいます）についてお話しさせていただきます。

ロータリー財団章典によりますと、「地区ロータリー財団委員会（District Rotary Foundation Committee）は地区の財団補助金および寄付推進活動に参加するよう ロータリアンの教育、意欲喚起、啓発を補佐する」と定義されています。委員会には、補助金、ファンドレイジング（寄付推進）、ポリオプラス、ロータリー平和フェロシップ、資金管理の5つの小委員会の設置を要求しています。

2770 地区では財団委員会の下、活動は財団部門委員長中心に行われています。地区補助金運営委員会を追加して6つの小委員会があります。地区内クラブからの卓話要請に対応し、誰でも卓話者になれるように年間6回程度の部門全体の勉強会を開催しています。コロナ禍によりこの3年間は通年より減っていますが、およそ30クラブから卓話依頼を受けています。おかげさまで、寄付額は日本の地区内では上位にランキングされています。

補助金活動についても熱心に取り組んでいます。グローバル補助金プログラムも最近では年5～6件承認されています。地区補助金についてもほぼ100%プロジェクトに充てられています。

このように、2770 地区ロータリー財団部門は比較的熱心な活動ができていますが、その理由の一つに、ロータリー財団地域セミナーへの参加があげられます。一般的にはバストガバナークラスの方々が中心に参加されていますが、2770 地区ではロータリー財団部門委員だけでも12～13名参加しています。かなり質の高いロータリー財団情報を多くの委員と共有できる事は地区での活動の大きな原動力になります。ぜひ多くの会員がロータリー財団地域セミナーへ参加されることをお勧めします。

また、第1地域では、飯村 RRFC のご発案で第1地域財団地区委員長会議が開催されています。新しい知識の収集、他地区との情報の共有、親睦を深める場として素晴らしい会議です。地区ロータリー財団運営に大いに役立つ会議だと確信しています。ZOOM 開催なので負担も軽く、委員長のみならずロータリー財団に興味のある多くの会員が参加していただければと思っています。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol.

272

2022年11月11日
発行



秋の外国人叙勲 米山学友に旭日双光章

旭日双光章

ライ ミンチュ 頼明珠さん (1977-78/松戸RC)



作家・村上春樹作品の中国語（繁体字）版翻訳者として、これまで40冊を超える村上作品のほとんどを翻訳・出版。中華圏に広がる「村上春樹ブーム」の先導者として知られています。

(写真:2012-13年度ホームカミング招へい時)

1. 2023 学年度奨学金申込み状況

10月15日に締め切りを迎えた2023学年度のロータリー米山記念奨学金（学部・修士・博士/地区奨励）には、指定校569校（地区を超えた指定校の重複を含む。前年度564校）から1,334人（1,298人）が推薦されました。

被推薦者の国籍・地域は、中国54.6%（54.2%）、ベトナム13.6%（13.8%）、韓国9.0%（8.8%）、

インドネシア2.9%（3.2%）、次いでマレーシア、台湾、モンゴルの順となっています。

課程別の応募状況は、博士課程17.5%（20.5%）、修士課程34.2%（33.3%）、学部課程44.6%（43.1%）です。なお、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、8地区17校から計34人の応募がありました。

2. 米山学友が多数 衛星クラブが待望の結成認可伝達式

11月6日、東京麹町ローターアクトクラブ、東京麹町スターロータリー衛星クラブの結成認可伝達式が都内ホテルにて開催されました。同衛星クラブは、今年7月にチャーターナイトを開催予定でしたが、急激なコロナの感染拡大で延期を余儀なくされていました。感染状況を見て、ようやく開催することができました。

当日は、当会から相澤光春副理事長が出席し、祝辞を述べました。龔雷さん（2007-08/横浜鶴峰RC）が初代議長（衛星クラブは会長と呼



ばず、議長と呼ぶ）を務める同衛星クラブには8人の米山学友が在籍しており、第2火曜日・第4水曜日に例会を開催しています。

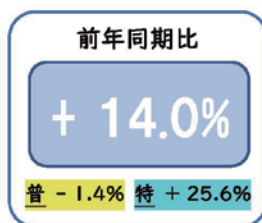
3. よねやま親善大使が地区大会でスピーチ



11月6日、国際ロータリー第2520地区の地区大会が盛岡市内ホテルにて開催され、よねやま親善大使のアドゥアヨム・アヘゴ・アクエティンさん（2014-15/新発

田城南RC）が参加しました。同地区の米山奨学生も出席した会場には、800人を超える参加者が集まりました。アヘゴさんは米山奨学生との懇親会に出席し、その後の本大会では清水努地区米山奨学委員長で紹介で登壇。約10分間のスピーチを行い、自身の義足師としての夢、米山への感謝を述べました。

4. 寄付金速報 — 米山月間へのご協力に感謝！ —



10月までの寄付金は、前年同期と比べて14.0%増（普通寄付金:1.4%減、特別寄付金:25.6%増）で、約7,090万円の増加となりました。単月

のみの比較では約680万円の減少となりましたが、9月の大口寄付の影響もあり、累計額においては増加の状態で推移しています。今回の米山月間にご協力をいただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。今年も残り2か月を切りました。引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

5. 「再会 in 関東」に向けチャリティー奉仕リレー

第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」（2023年8月5～6日開催）に向けて、関東10地区学友会による「チャリティー奉仕リレー」がスタートしました。

トップバッターとなった国際ロータリー第2770地区米山記念奨学部門学友会は10月2日、岩槻駅前にて募金活動を主催し、「貧困に苦しむ日本の子どものための教育支援」を呼び掛けました。当日は8人のロータリアン、28人の米山奨学生・学友を含む、総勢40人が参加。募金活動で集まったお金は、NPO法人「Learning for All」へ寄付する予定です。

募金活動後は、岩槻駅前から岩槻城址公園ま



岩槻駅前募金活動を行う米山学友



クリーンアップウォーキング後に集合写真

での約2kmを歩きながら、落ちていたゴミを拾う「クリーンアップウォーキング」を行いました。この奉仕活動は今回が通算4回目となり、同地区内の浦和、与野、大宮、岩槻エリアにて活動。今後は上尾や戸田まで範囲を広げていく予定です。

奉仕活動に参加した田 敏さん（2009-10/越谷南RC）は、「参加者全員で力を合わせて呼びかけた結果、私たちの予想を上回る募金が集まりました。ご協力いただいた岩槻市民の皆さまに、心より感謝いたします。今後は奨学生に対して、奨学期間終了後も学友会にて活躍してもらえよう、人材育成や支援にも力を入れてまいります」と述べました。

もうすぐ締切

普通寄付金 申告用領収書の申請は11月末まで！

普通寄付金分の確定申告用領収証の申請期限は11月30日です。当会ホームページのメニュー、

寄付金について → 「普通寄付金：申告用領収書の申請はこちら」からお手続きください。

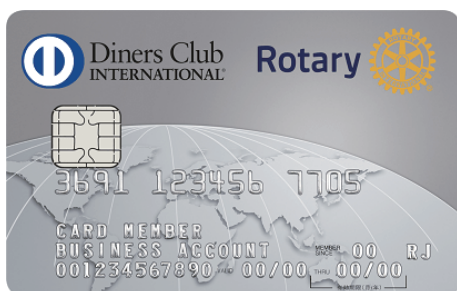
特別寄付金については来年1月下旬、自動的にクラブ経由で送付されますので申請はご不要です。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・長尾(ながお)

ロータリー・クレジットカードの御案内

皆さん、ロータリー・クレジットカードはご存じですか。このカード。ロータリーインターナショナルとカード会社が提携する形で、**カードの利用額の0.3%がポリオ根絶資金**に回されます。提携しているカードは、ダイナースクラブカードとマスターカードの2種類。**カード利用に際して、手数料は一切掛かりません**。通常のカード年会費以外に**ロータリーインターナショナルとしての年会費は一切ありません**。ロータリー財団へのご寄付も可能です。財団へご寄付をされた場合は個人・クラブの年次寄附として加算されます。但し、通常のカード利用では、年次寄附には加算されません。この提携カードは2000年に開始され、860万米ドルが財団に寄附され、うち360万ドルがポリオ根絶資金として役立てられています。ここで、各カードの特徴を見ていきましょう。



ロータリーダイナースカード

Rotary Diners Card

個人カードの他にクラブカード、地区カード、地区委員会カードの3種類のコーポレートカードの発行が可能です。各コーポレートカードでは地区、クラブの研修、RIへの分担金、諸経費の支払いにも利用可能です。コーポレートカードでは利用対象者は限定されます。個人カードの場合、既にダイナースクラブにご入会している方は、一旦ご解約をして新規にロータリーダイナースカードにご入会して頂く形となります。**特徴はカードのサービスデスクとは別にロータリークラブ専用のデスクが設けられ**

ていることです。小職は個人カードを所持していますが、正直なところ、電話の繋がり具合、スタッフの対応が全く異なります。同カードの担当課長は、ロータリークラブの方々は社会的に選ばれた方々。一般のダイナースクラブカード保持者とは区別して、ロータリアンに相応しいサービスを心掛けていきたいと話されていました。

Rotary Diners Card

Rotary Master Card

ロータリーマスターカード

個人カードと法人カードの2種類。個人カードにはスタンダードとゴールドカードがあります。

個人のカードの場合、ポイントが溜まるとポイント該当金額をロータリー財団へ寄附することが出来ます。個人・クラブの年次基金としても加算されます。**法人カードの場合、利用額の0.5%がポリオ根絶資金として回されます**。但し、法人カードはクラブ、地区での利用は出来ません。

Rotary Master Card



これを機会にロータリー・クレジットカードを新規に発行して、ロータリー活動に新たな1ページを加えていくのは如何でしょうか。敢えて身構えることなく、日々の生活で楽しみながら、ロータリー財団へ寄附。知らず知らずのカード利用が、世界のポリオ根絶に大きく貢献されます。皆様も是非、ロータリー・クレジットカードへご入会されることを強くお勧めします。





写真撮影が趣味の佐貫ガバナー
季節に合わせた
栃木の美しい風景をご紹介します。



12 月の風景 *Naomichi Sanuki*